取扱説明書（ボルボ編）

もくじ

ご使用になる前に.....1

はじめに.....2

安全にご利用になるために.....3

診断機能.....5

アクティブテスト機能.....6

作業サポート機能.....10

ご使用になる前に

はじめに.....2
安全にご利用になるために.....3

はじめに

ご使用になる前に

本取扱説明書では、ボルボ車の診断方法に関してご説明させていただきます。ご使用の前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。本体の基本的な操作は、本体の取扱説明書をご覧ください。

株式会社インターサポート

安全にご利用になるために

ご使用になる前に

■ 本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前に、必ず本取扱説明書ならびに添付のその他の取扱説明書を必ずお読みください。

■ 本取扱説明書および添付のその他の取扱説明書では、人に対する危害や財産への損傷を未然に防止するために、危険を伴う操作、お取扱について、次の記号で警告または、注意しています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が負傷を負う可能性、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

本製品を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

以下に述べられている警告や他の案内を無視した事が原因となる製品の損害や、被害などに関しては、当社は一切責任を負いません。

⚠ 警告

- 走行状態でご使用になる場合には、必ず運転者、操作者の2人でご使用ください。操作に気を取られて事故につながる恐れがあります。
- アクティブテストはボルボのサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容を十分に理解した上で行ってください。使用方法を間違えると、車両に悪影響をおよぼし事故発生の原因となる恐れがあります。
- アクティブテストは車両が正常な状態（ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時）および、車両停止状態（パーキングブレーキをかけて、輪留めをする）で実行してください。

診断機能

アクティブテスト機能 6
作業サポート機能 10

アクティブテスト機能

診断機能

警告

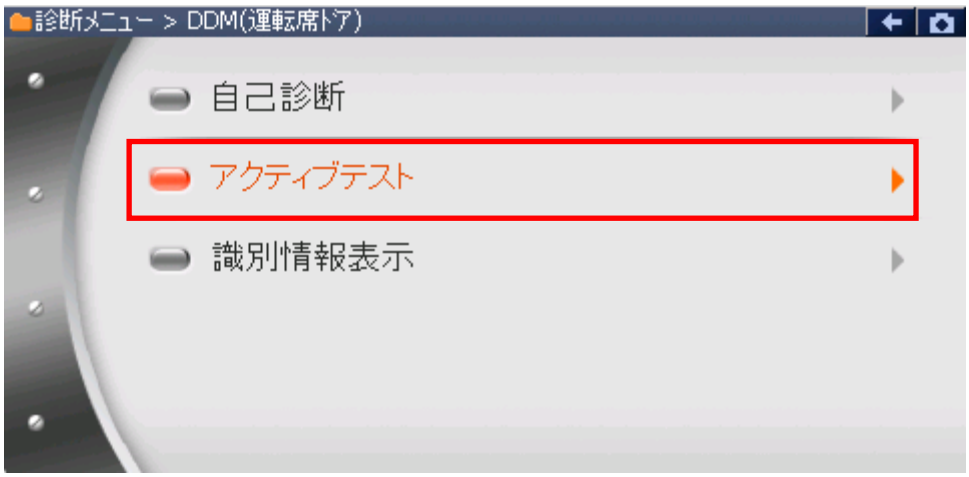
- アクティブテストはボルボのサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容を十分に理解した上で行ってください。
- 使用方法を間違えると車両に悪影響をおよぼし、事故発生の原因となる恐れがあります。
- アクティブテストは車両が正常な状態（ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時）で実行してください。
- アクティブテストを実行する場合は必ず車両を以下の状態にしてください。
  車両をこの状態にできない場合はアクティブテストを実行しないでください。
  1. 車両停止状態。（パーキングブレーキをかけて、輪留めをする）
  2. ブレーキペダルを踏込む。
  3. ギア位置はPレンジまたはNレンジにする。

※補足※

■ ボルボのアクティブテスト項目一覧には、下記の項目のような一部の作業サポート項目が含まれています。

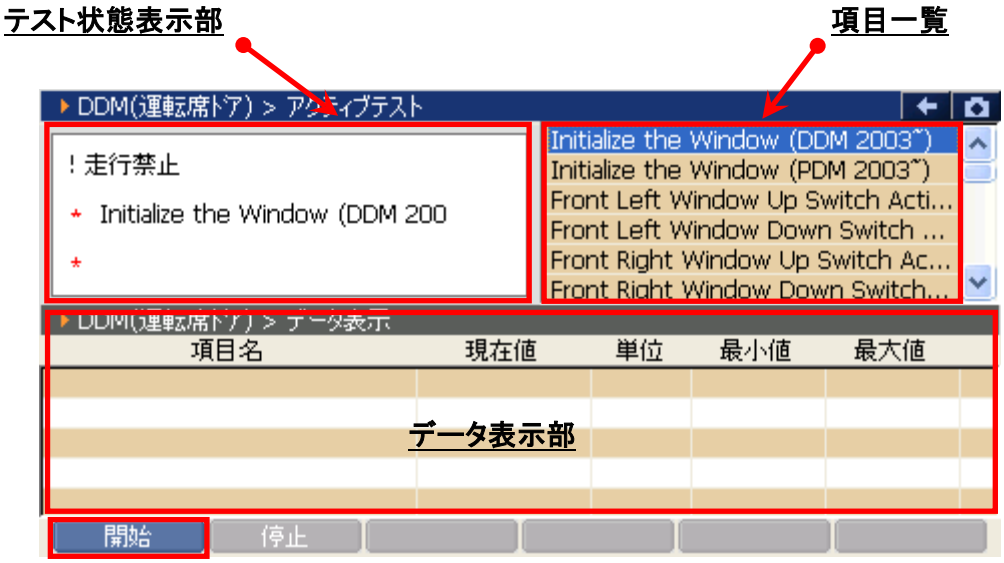
作業サポート項目（アクティブテスト項目一覧に含まれる）	
システム	項目名
DDM(運転席ドア) / PDM(助手席ドア)	ウィンドウ初期化(DDM(運転席ドア) 2003～)
DDM(運転席ドア) / PDM(助手席ドア)	ウィンドウ初期化(PDM(助手席ドア) 2003～)

1）診断メニューにおいて『アクティブテスト』を選択して ENTER ボタンを押してください。



〈図：診断メニューにてアクティブテストを選択〉

2）アクティブテスト画面が表示されます。



〈図：アクティブテスト画面〉

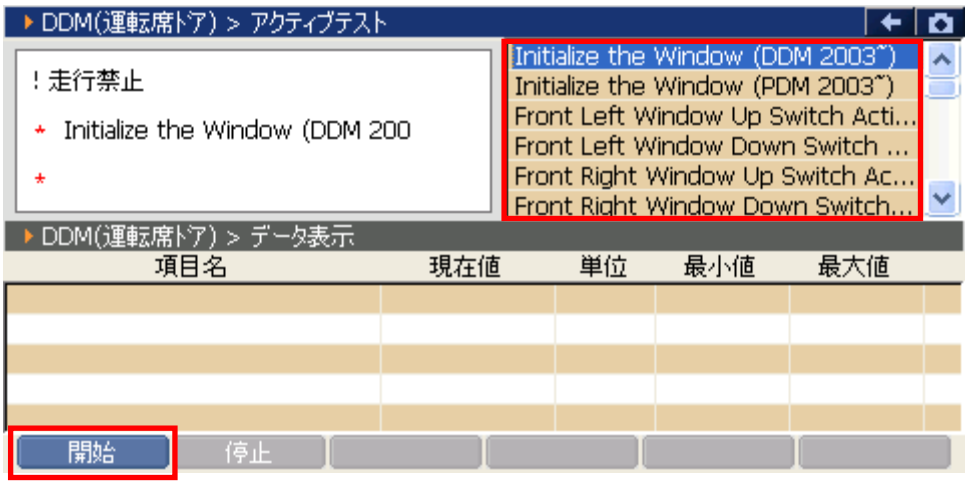
テスト状態表示部 ： テスト状態が表示されます。

項目一覧 ： アクティブテスト項目の一覧が表示されます。

データ表示部 ： アクティブテスト中のデータが表示されます。

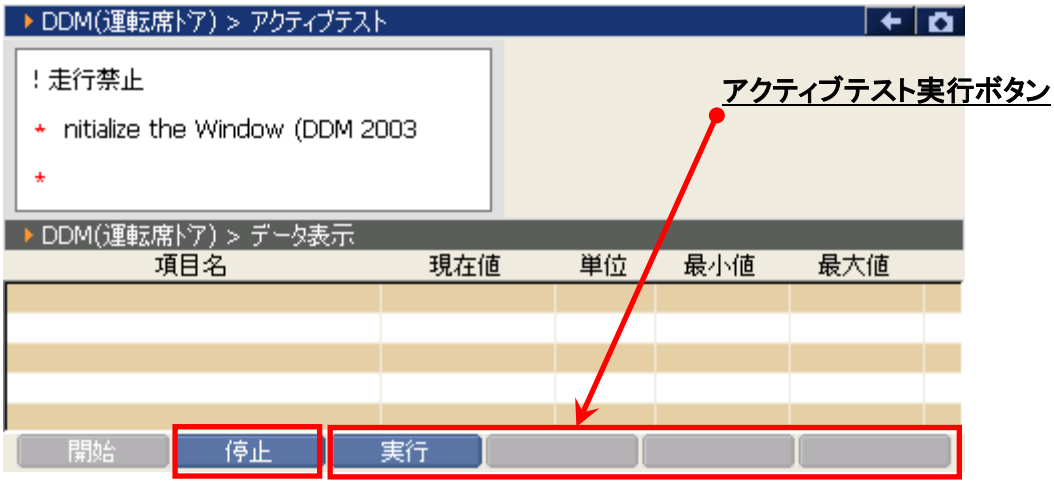
開始 アクティブテストを開始します。【詳細はP8 3)を参照】

3）アクティブテスト項目一覧の中から実行する項目を選択して、 開始 ボタンをタッチ、又は F1 ボタンを押してください。



〈図：アクティブテスト開始〉

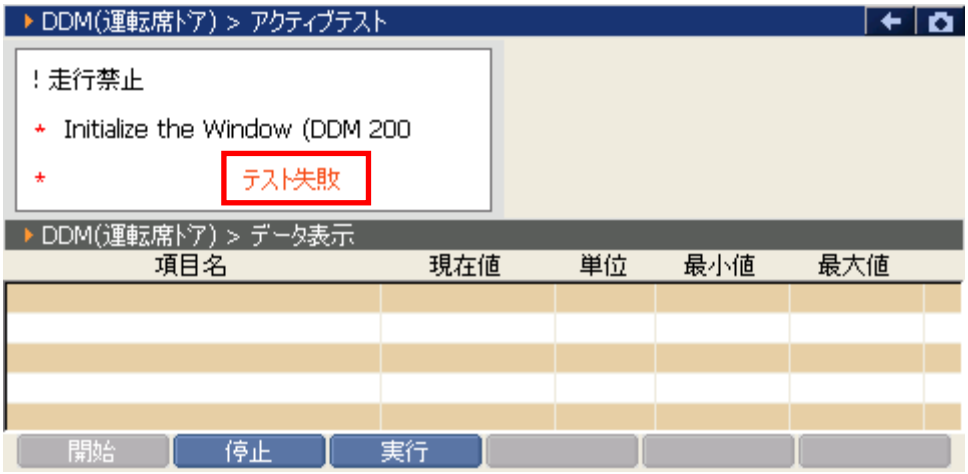
4）アクティブテストが開始されます。アクティブテスト実行ボタンを操作してアクティブテストを行ってください。アクティブテストを停止する場合は 停止 ボタンをタッチ、又は F2 ボタンを押してください。



〈図：FPリレー　アクティブテスト実行例〉

※注意と補足※

- 実行できるアクティブテスト項目は車種、システムによって異なります。
- G-scan ベーシックを購入した場合にはオプションで拡張機能を購入しないとこの機能を利用することが出来ません。
- 『 …2003～ 』という表記がある項目は、2003年以降の車両でのみアクティブテストが正常に動作する項目です。2003年以前の車両ではアクティブテストに失敗します。
- 『アクティブテスト実行ボタン』に表示されるボタンの内容は実行するアクティブテストによって異なります。
- 『テスト失敗』と表示された場合、車両状態を確認して再度アクティブテストを実行してください。



〈図:アクティブテスト失敗〉

作業サポート機能

診断機能

⚠ 警告

- 作業サポートはVOLVOのサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容を十分に理解した上で行ってください。
- 使用方法を間違えると車両に悪影響をおよぼし、事故発生の原因となる恐れがあります。

作業サポート対応項目は以下の通りです。

<<サービスリマインダーリセット>>

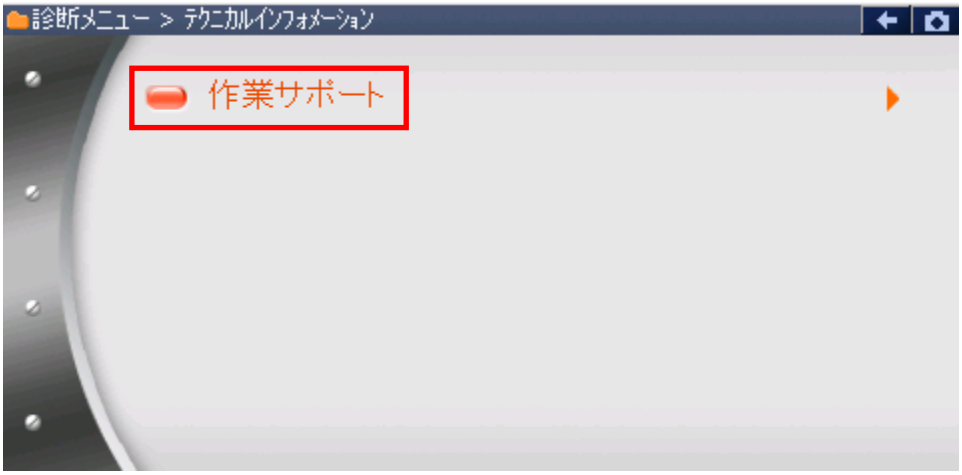
項目	説明
サービスリマインダーリセット	G-scanを使用してリセットを実施します。

<<テクニカルインフォメーション>>

項目	説明
略語一覧	VOLVOシステムの略語一覧を表示します。
サービスリマインダーリセット(手動方法)	手動でのリセット方法を表示します。

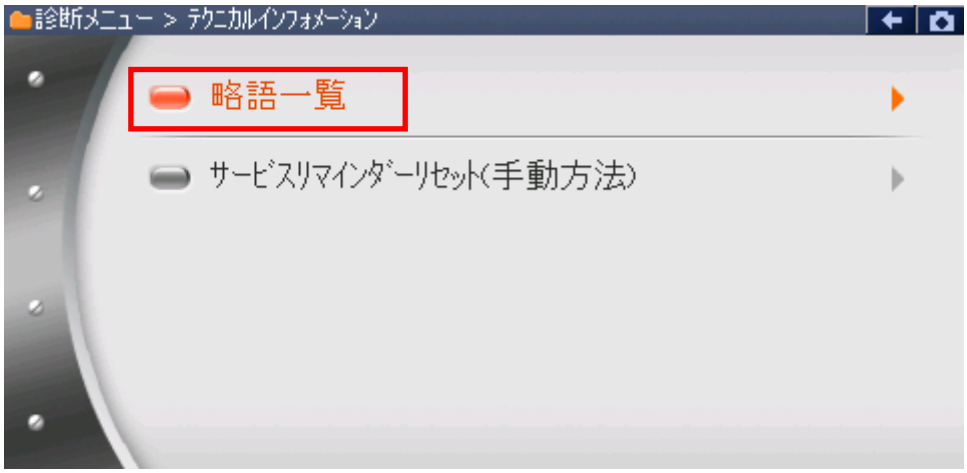
<<略語一覧を実行する場合>>

1) 診断メニューにおいて『作業サポート』を選択して ENTER ボタンを押してください。



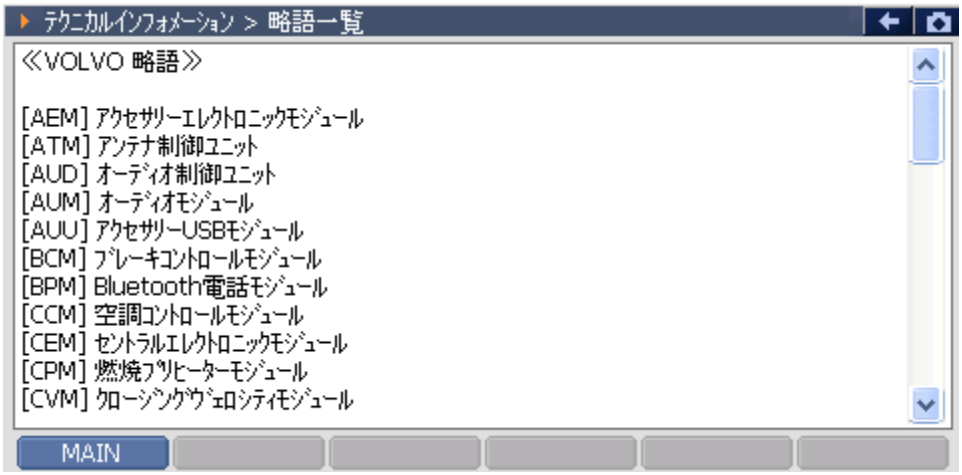
〈図:診断メニューにて作業サポートを選択〉

2)作業サポート項目選択画面が表示されます。実行する項目を選択して ENTER ボタンを押してください。



〈図:作業サポート項目選択画面〉

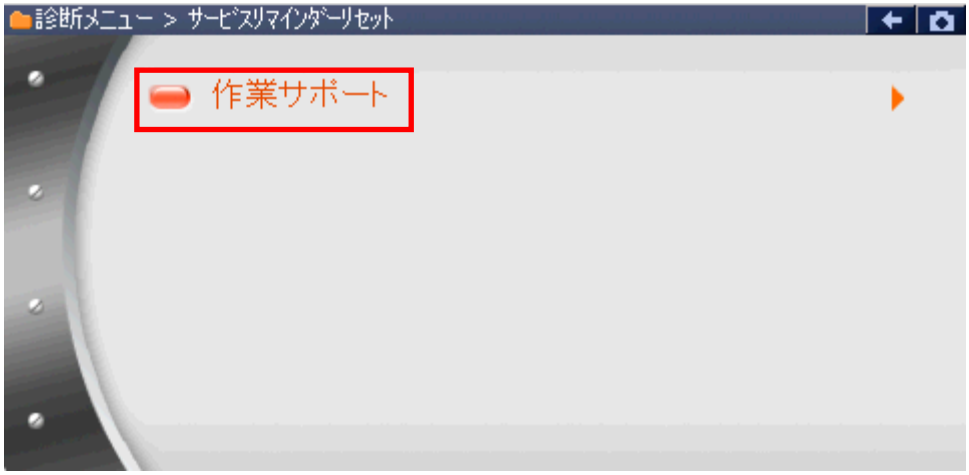
3) 略語一覧が表示されます。



〈図:テクニカルインフォメーション　略語一覧〉

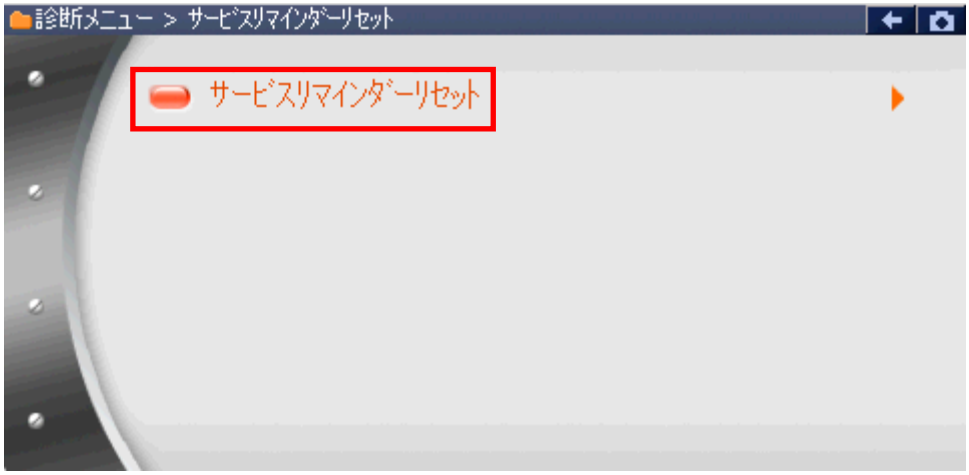
<<サービスリマインダーリセットを実行する場合>>

1)診断メニューにおいて『作業サポート』を選択して ENTER ボタンを押してください。



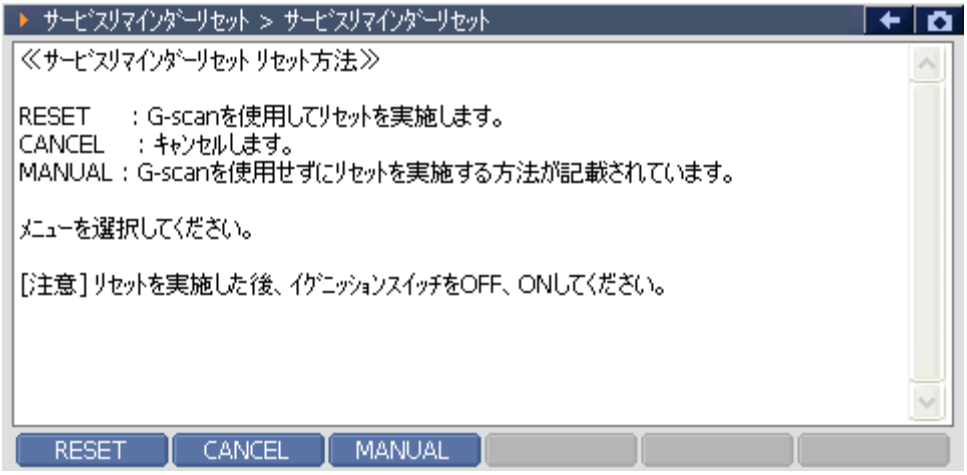
〈図：診断メニューにて作業サポートを選択〉

2)作業サポート項目選択画面が表示されます。実行する項目を選択して ENTER ボタンを押してください。



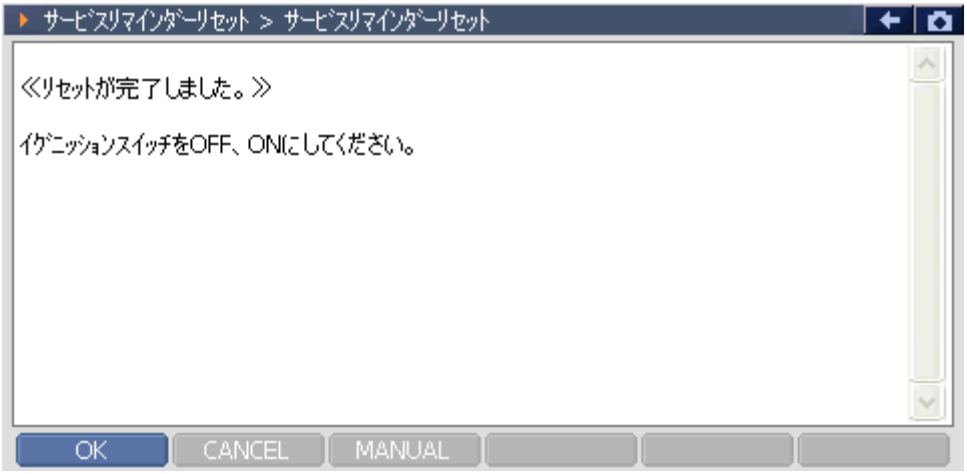
〈図：作業サポート項目選択画面〉

3)サービスリマインダーリセットに関する注意事項が表示されます。RESETボタンを押して下さい。



〈図：サービスリマインダーリセット　注意事項〉

4)リセットが完了すると、下記のように表示されます。



〈図：サービスリマインダーリセット　実施完了メッセージ〉

株式会社 インターサポート

〒310-0836

茨城県水戸市元吉田町329-5

Tel 029-248-0616 Fax 029-248-1609

http://www.inter-support.co.jp

製品保守センター

（修理のお問合せはこちら）

Tel 029-304-0185

サポートセンター

（製品のご相談・ご質問はこちら）

Tel 0570-064-737 （ナビダイヤル※）

Fax 029-304-0167

※IP電話・PHSからはご利用出来ませんので、FAXでお問い合わせください。

2014年2月発行 第10版

本書を株式会社インターサポートの許可無く複写、複製、転載する事を禁じます。

本書に記載の製品、製品仕様、および使用方法は改良のために、将来予告なしに変更される場合があります。

G1PZFDN001-14-10